

今年度の予算は **65億円**

令和7年度 一般会計予算

令和7年度予算についてお知らせします。一般会計の予算総額は、65億円です。令和6年度に比べて5億500万円、8.4%の増となりました。

会計別予算額と前年度比較

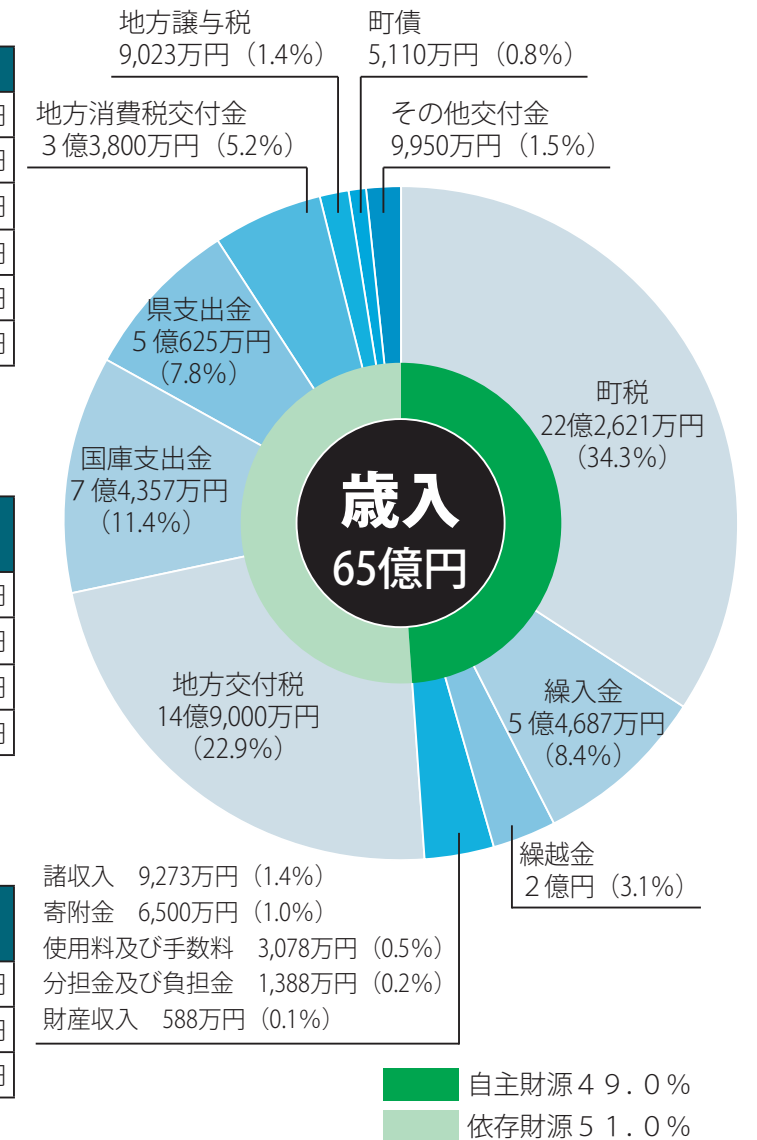
会計	令和7年度	対前年度比較
一般会計	65億円	5億500万円
後期高齢者医療特別会計	2億3,680万円	911万円
国民健康保険特別会計	18億7,634万円	△1億628万円
介護保険特別会計	13億9,806万円	3,590万円
下水道事業会計	3億3,007万円	△1,602万円
合計	103億4,127万円	4億2,771万円

積立金(貯金)残高

会計	令和6年度末(見込み)	対前年度比較
一般会計	41億5,916万円	6,132万円
国民健康保険特別会計	1億2,940万円	3,440万円
介護保険特別会計	2億1,589万円	△2,277万円
合計	45億445万円	7,295万円

町債(借入金)残高

会計	令和6年度末(見込み)	対前年度比較
一般会計	37億2,935万円	△1億4,755万円
下水道事業特別会計	2億439万円	△8,462万円
合計	39億3,374万円	△2億3,217万円



歳入

歳入の根幹である町税は、22億2,621万円です。令和6年度当初予算と比べ、約8.4%増を見込んでいます。交付金や交付税は、令和7年度の状況や国の動向などを参考にし、増加を見込みました。分担金を受けて実施する工事が終了したため、分担金および負担金は減少します。国の補助を受けて実施する事業は増額となったため、国庫支出金は大幅に増加、県の補助を受けて実施する事業も増えたため、県支出金も増加しています。令和6年度に各施設の大規模修繕を行い、その費用を借入れましたが、事業終了に伴い、町債が大きく減少しています。

歳出

目的別では、福祉関係の費用である民生費が約20億2,856万円と最も多くなっています。また、町の各種システムを国の基準に統一するための費用が大きく、総務費が増額となっています。そのほか带状疱疹ワクチンや新型コロナウイルスワクチンの接種費が増加した衛生費、道路などの工事を行う土木費の増加幅が大きくなっています。町の予算についても、物価高の影響があり、全体的に増加傾向にあります。

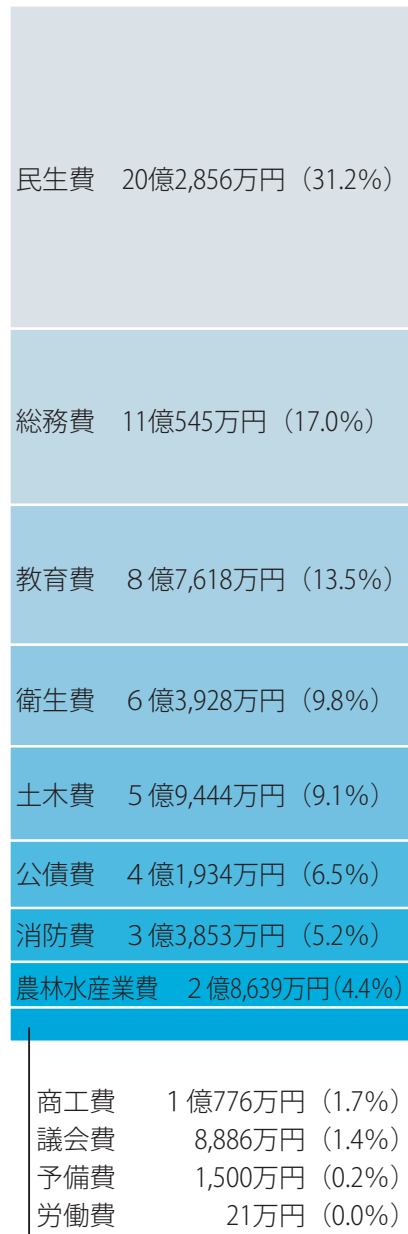
性質別では、人件費が多く、次いでシステムの開発委託などの物件費、その次に補助金などで交付する補助費などが多くなっています。

全会計当初予算

一般会計、特別会計および公営企業会計を合わせた全会計の予算総額は、前年度に比べて4億2,771万円、4.3%の増となりました。

問合せ 財政係
82-61226

歳出(目的別)

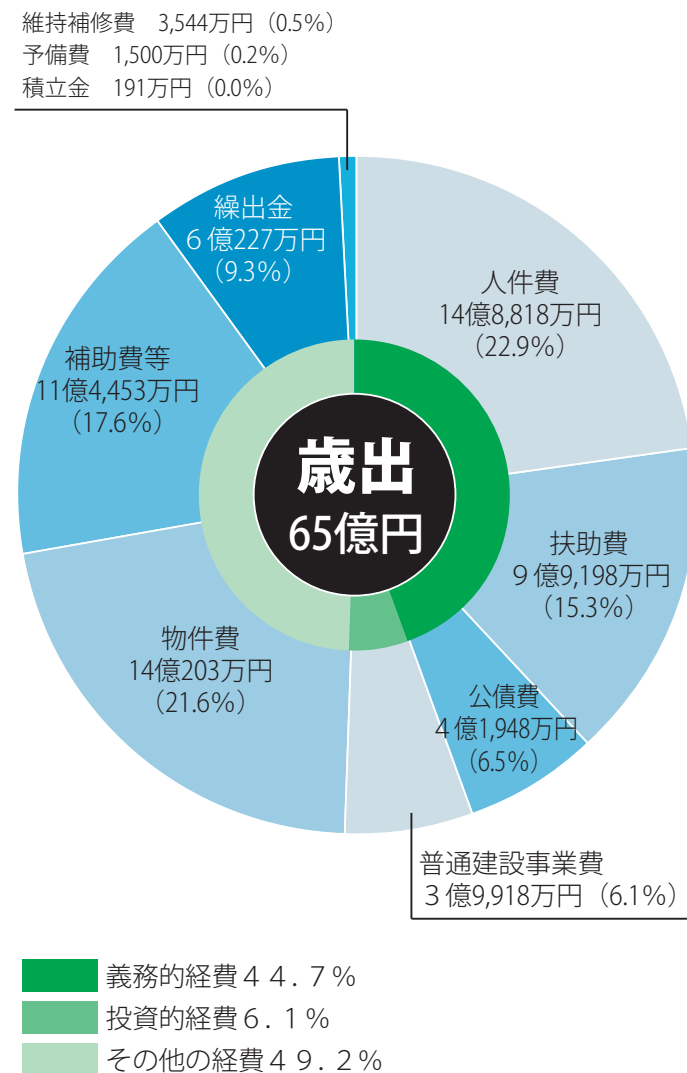


町民1人当たりの予算は **482,876円**
※R7.1.1の人口(13,461人)で算出

使いみちは

民生費	150,699円	土木費	44,160円
総務費	82,122円	公債費	31,152円
教育費	65,090円	消防費	25,149円
衛生費	47,491円	その他	37,013円

歳出(性質別)



用語解説

- 地方交付税** 財源不足を補うために、国から町に交付されるお金
- 国庫・県支出金** 特定の目的のために国、県から交付されるお金
- 町債** 公共事業などの財源として国や金融機関等から借りるお金
- 地方譲与税** 国が徴収した自動車重量税などから配分されるお金
- 投資的経費** インフラ整備など、将来に残るものに支出される経費
- 公債費** 町が借り入れた町債の元利償還金
- 繰出金** 一般会計から特別会計に支出されるお金